

「フォトコンテスト」受賞作品のご紹介

泉崎村民文化祭が第50回目を迎える節目の特別企画として開催したフォトコンテストの受賞作品を紹介します。

【公民館長賞】

作品名：改善センター 春

作者：荒井 恵美子さん

審査員講評：満開の桜の下で、男の子が何かお気に入りの物を持って微笑んでいます。何かほっこりするような日常の一コマを見ているような写真です。



はっぴい ぱあすでい Happy Birthday

今月1歳の誕生日



吉田 眞乃ちゃん(字八雲神社)

内堀雅雄福島県知事 秋山錠剤株式会社訪問

2月20日(木)内堀雅雄福島県知事が「秋山錠剤株式会社」を訪問し、錠剤の材料調合、加工や検査などの生産工程を視察しました。

工程順に工場内を見学したり、職員の皆さんと意見交換をしたりと有意義な時間を過ごしておられました。



リレートーク

290

石下 恭子さん(字天王山)

平成16年に学生時代以来、40余年住んでいた福島市から移住しました。NPO法人「こころん」が、県南地方の障がい者生活支援センターを泉崎村に開設することになり、そのお手伝いが縁で、この法人に生涯奉仕し、開設にご協力くださった泉崎村に住むことを決めました。

宇都宮市育ちの私には、地形も天候も似ていると親しみを覚えしました。夏の夕立の雨脚も、轟き渡る雷鳴も子どもの頃を懐かしく思

い出させるものです。母も訪問看護師さんやヘルパーさんが介護にお力添えをくださったお陰で散歩を楽しみ、毎晩入浴でき、102歳8か月の天寿を全うしました。

3月の声に、まんさくが咲き、鶯の初音を右耳で聴きました。鳥峠にかたくりの花、村全体桜の花盛り、天王山に鯉のぼりが泳ぎ、桃源郷です。ご近所さんとも良い距離のお付き合い。「こころん」に生涯奉仕を決め、住み着いた泉崎村は、心豊かになれる村です。



次回、松村 一さんに
バトンタッチ!